

信じられない悪の集団——その3

ロスチャイルド KM (ハザール・マフィア) が、再び彼らの様相を変え、構成員を拡大する：

その一方で、ロスチャイルド KM は、もし自分たちが変化せず、彼らの秘密のリーダーシップを拡大しなければ、もうこれ以上、民衆から隠れたままでいることはできなくなることを覚った。

そこで彼らは、さらに頑張って浸透する努力をし、フリーメイソンとその秘密の子孫たちを乗っ取り、トップ・メンバーたちを勧誘して、彼らのペドフィリア・ネットワークと、子供の生贄儀式に参加させた。

また、議会の主要メンバーは、特別の権力、米政府や軍や情報の、高い地位を与えられ、そこには大きな金銭的報酬が伴っていた。イスラエル-アメリカの「イスラエル・ファースト」二重市民として、言うことを聞く、膨大な数の KM 諜報団が、アメリカの内部に置かれて、ハザールの銀行屋の賈金が政治家たちに支給され、選挙運動用として、これは彼らを選ばれたときに、彼らをコントロールするためだった。

ロスチャイルド KM が、アメリカの一般大衆をマインドコントロールし、彼らの操縦をより容易くする計画を決定するが、これは彼らの、不正で違憲の、挑発によらない、宣戦布告によらない、かつ勝利もせずに、永遠に戦争を続けるため、膨大な利益と、より大きな世界権力のために、それは必要とされた：

ロスチャイルド KM は、すべての民衆の教育を完全にコントロールする計画をした。まず教育省を設け、「ポリティカル・コレクトネス」や、多様性や、「変態は常態である」教育に基づいた、グローバリスト・社会主義者のカリキュラムを作った。フッ素が、公衆の水や歯磨きに加えられ、歯科医たちがマインドコントロールされて、フッ素は虫歯を防ぎ、脳の機能にも甲状腺にも害はないと（事実と反して）信じ込まされた。

これはアメリカ人の IQ の平均値を下げて、彼らを通常よりも扱いやすくするためだった。ワクチン接種運動を広く行って、子供たちの知能を引き下げ、将来の慢性的健康問題を、大規模に増加させるプログラムが導入された。

医者たちがマインドコントロールされ、故意に選んだ方法によって歪んだ研究や、ネガティブな研究——ほとんどがそこに入る——はすべて無視することによって、ミスリードされた。すべてのワクチン細胞株は、既知の、発がん性の、ゆっくり作用するウィルス、SV-40 によって汚染されている。

アメリカの大衆を愚弄しマインドコントロールする、この大規模な計画の一部は、ハザール・マフィア (KM) がアメリカの大衆メディアをすべて買い上げ、6つのコントロールされた大手マスメディア (CMMM) へと強化し、彼らの意を受けた者たちの所有し、コントロールするものになっていった。

ロスチャイルド KM の首脳たちが、アメリカを利用して、全世界の最終的な破壊と占領を成し遂げる時期がきたと決断する。彼らはアメリカ内部に、大規模なニセ旗攻撃を仕掛け、これをイスラム教徒の仕業と宣伝し、自分たちのために、アメリカがこれを間違っただけで攻撃してくれることを望んだ：

そこで KM 首脳は、彼らのトップの、イスラエル-アメリカ「イスラエル・ファースト」二重市民で、アメリカに住んでいる者たち（つまり PNAC やネオコン仲間）を利用して、9・11・01 のアメリカへの大規模な核攻撃を計画させた。

KM の実行ヘッドであるビビ・ネタニアフ首相は、モサドと、これらの二重市民を展開させて、アメリカに対するこの攻撃を設定し、実行させた。そしてこれは後に、CMMM によって、ムスリムの仕業ということになった。

彼らは、自分たちのトップのラビたちと、「世界シオニズムの友人たち」に、その日には飛行機には乗らないように、NY 市には近づかないように通知した。この作戦に巻き込まれた主要人物の一人、Larry Silverstein はそのようにした。

彼らは、米国防総省の主要な仲間を用いて、“Able Danger”（2008 米映画）調査員をおびき寄せ、ペンタゴンの海軍諜報会議室に呼んだ。そこで彼らは暗殺されたことになっていて、それは、トマホーク・クルーズ・ミサイルが、イスラエルの、ドイツから買った「ドルフィン」級のジーゼル潜水艦から発射されたことによる。

35 名の “Able Danger” 調査官たちが、イスラエルの盗まれた 350 個の使用済みの W-54 Davy Crockett 核ピットを、テキサスの Pantext Plant の裏で調査中のところを、このトマホークの射撃によって殺された。これは海軍の諜報室ウィングにあらかじめ用意されてい

た爆弾の爆発と、タイミングを合わせたもので、このウィングは新しく強化されていたが持たなかった。

<https://youtu.be/zze32ZEjt30>

イスラエルの「モサド」フロント会社、Urban Moving Systems が、盗まれた W-54 核ピットから製造されたミニ核爆弾を、Pantext から輸送するのに使われた。それらはそこで NY 市のイスラエル大使館に蓄えられ、ツインタワーに輸送され、9・11・01 の爆撃に使われた。

バール、もしくはモロック、ルシファー、サタン——どれでもいい。すべての人間の大量虐殺を狙っているのは、この同じ悪霊である。彼の「汚い仕事」と引き替えに、彼は、彼らの魂を奪ってくれる者たちへの報酬として、考えられないほどの富、名声、権力を与えてくれる。これが「**魂を売る**」と呼ばれている、秘密の血の契約である。

ハザール・マフィア (KM) の、この考えられない悪の秘密のアジェンダは、今、Veterans Today の編集者ゴードン・ダフによって、まさに初めて、一般に明らかにされている。我々は、今、ビビ・ネタニアフが、2001 年 9 月 11 日のアメリカの核攻撃をやったことを知っており、全体的なハザール・マフィアのアジェンダも、彼のやったことだと知っている。

これは椅子にしがみつくような話だ。これは実に大きな秘密で、アメリカの内部で起こっていることの多くを説明する。そのすべてが、イスラエルとハザール・マフィア (KM) によって起こされており、アメリカの政府や社会のほとんどの機関に浸透している。

今初めて、ハザール・マフィアというものの非常に特殊な秘密の、恐るべき悪のアジェンダが明かにされ始めた。これはマイク・ハリスとのインタビューで、Veterans Today の主筆で編集者の Gordon Duff が、2015 年 3 月 10 日、The Short Ed of the Stick というトークショーをやってくれたおかげである。

私は長年の間に、ショッキングなインサイダーの秘密を聞いてきたが、これほどのものはなかった。これは、イスラエルとそのアメリカの身内どもが、ロスチャイルド-ハザール・マフィア (KM) のために、何をしてきたのかを正確に説明するものである。それは我々の人生のほとんどあらゆる相を、めっちゃめっちゃにしてしまった。経済は貧困化し、失業と雇用の減少、犯罪の激増、アルコール中毒と麻薬、子供を駄目にする学校の失敗、さまざまな健康上のプログラム (飲料水のフッ素、ワクチン中の水銀など)、それらが大きな詐欺として、留まることのない政治的腐敗となっている。

このインタビューは今、世界中にショックの波を送っており、ゴードン・ダフが初めて公然と暴露した内容を考えるなら、ビビ・ネタニアフこそが、ハザール・マフィアの作戦ヘッドであり、9・11のイスラエルによる核攻撃を、命令し監督した人物であったことに、ショックを受けるだろう。

ゴードン・ダフは、ネタニアフが、ジョナサン・ポラードのような KGB のスパイであったことを明かした。そして我々は今、イスラエルはボルシェビキ・ロシアの衛星国として始まったもので、ソビエト・ユニオンが倒れたとき、非常に悲しんだことを知っている。

ベニアミン・ネタニアフは、よく知られたモサドの社交場である、エルサレムのフィンクスバーで会談していた。ここに述べるのは、言われたことの直接のスク립トだと彼が言っているもので、証言された、100パーセント確実なものである。

「もし我々が捕まれば、彼らは同じ生地の人たちで、我々を入れ替えるだろう。だから、あなたが何をしようとか関係ないのだ。アメリカは「黄金の牛」で、我々はそれを吸い尽くし、切り刻み、バラバラにして何もなくなるまで売りつくす。残るのは世界で最大の福祉国家で、我々はこれを創造しコントロールする者だ。なぜ？ なぜなら、それが神の意志で、アメリカは十分に大きいから、こたえることはない。そこで我々は、何度でも繰り返してそれをやることできる。これは、我々が憎んでいる国々に対してやることだ。我々は彼らを非常にゆっくりと破壊し、我々の奴隷になることを拒否したことに対して、奴らを苦しませてやるのだ。」

これこそまさしく、ロスチャイルド-ハザール・マフィア (KM) が、1913年、アメリカに首尾よく浸透しハイジャックして以来、アメリカに対してやってきたことである。ロスチャイルド-ハザール・マフィアのためにビビが言ったことを知れば、当然、我々は全員が激怒して、これら悪なる者どもをアメリカから追い出し、この偉大な共和国を取り戻そうとするだろう。

ビビ・ネタニアフが神の意志と言うとき、彼の言っていたその神は、「バール」(「偉大な梟」とも「モロック」とも呼ばれる)であり、これらハザール人が信仰の対象として、人々に敬うことを要求し、絶えず人間の犠牲を要求した神である。

ビビ・ネタニアフが論じていたことは、2001年9月11日に、アメリカかへの核攻撃としてやってきつつあった。そして彼が、「彼らは単に我々を入れ替えるだけ」と言っていたのは、「イルミナティ」とか「サタンの弟子」とか呼ばれる、少数のトップ・グループのこと

であった。これらの人々は、2年に一度の子どもの生贄儀式をデンバーで行い、子どもたちの心臓を食い、ペドフィリアの後に彼らの血を飲むというようなことを行っている。

皆さんに申し上げたい。我々はこの情報をあらゆる人に伝えなければならない。そして団結し、これら魂を失った、バール信仰をする者たちを、アメリカのあらゆる場所、あらゆる隅から追い出さねばならない。そして彼らすべてを裁きの場所に引き出し、この想像を絶する悪に対して最後の審判を下さなければならない。

ビビ・ネタニアフが考えていること——アメリカは資産剥奪して屠殺すべき「金の牛」だということを理解できる人々は、怒り、決起して、アメリカ内部のイスラエルの諜報活動、連邦準備システム、AIPAC、JINSA、防衛政策委員会、CFRといったものに対して、行動を起こすべきである。

——翻訳第3部ここまで、4部につづく

[Greatchain 訳注]

これで、選挙期間中もよく理解できなかった、アメリカの民衆とワシントン政府の、異常な敵対関係がわかってきたと思う。

ビビ・ネタニアフ・イスラエル首相は、9・11テロの首謀者（正確には見えない首謀者の手下の代表）であった。彼は、4頁斜体部分で言っている通りの、心からアメリカを憎悪する、ハザール・マフィアと一体化した、歴然たる犯罪者であった。ワシントン政府は、ネタニアフのイスラエルと、いわゆるズブズブの関係の、隠れ犯罪者、もしくは準犯罪者であった。ワシントン政府は、アメリカ国民とアメリカ共和国に対する、歴然たる裏切り者であることがわかった。9・11など本当ことを言っただけは、彼らは生きていけない者たちである。

ただ、トランプ大統領と、わずかの彼の腹心だけが、本当のことを言える、本当のアメリカを代表している。したがってトランプは、ワシントンから見れば裏切り者であり、生かしては置けない存在である。いわゆる「泥沼」は、清掃すれば済む問題でなく、彼らは泥沼によって生きている。

このネタニアフの告白を、ジョー・バイデンに読ませてみるとよい。何とうまく自分の立場を述べたものだと、彼は感嘆するだろう。彼は、自分が頼りなくても、すべて上の人がやってくれるはずだと考えているはずである。